



大同メタル工業株式会社

2024年3月期 第1四半期  
決算補足説明資料

2023年8月10日

[東証プライム市場、名証プレミア市場]

証券コード:7245



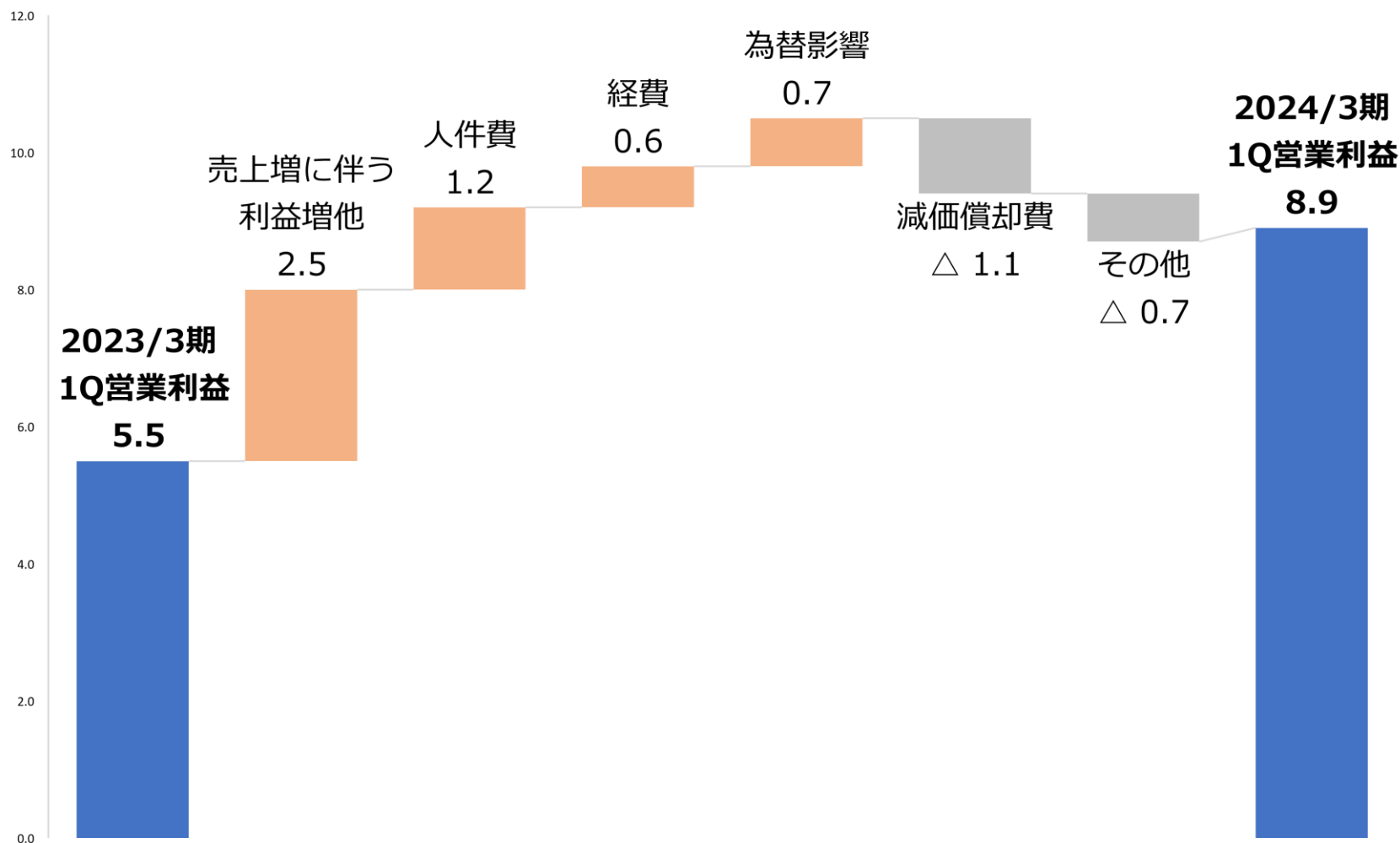
連結	実績		前年同期比	
	2023/3期 第1四半期	2024/3期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	27,569	29,979	2,410	8.7%
営業利益 (営業利益率)	557 (2.0%)	894 (3.0%)	337 (1.0%)	60.5% -
経常利益 (経常利益率)	651 (2.4%)	849 (2.8%)	198 (0.5%)	30.4% -
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (純利益率)	63 (0.2%)	169 (0.6%)	106 (0.3%)	167.4% -
自己資本当期純利益率 (ROE)*	0.4%	1.1%	0.7%	-
自己資本比率	35.9%	34.6%	△ 1.2%	-
純有利子負債 (有利子負債-現預金)	38,066	36,378	△ 1,687	△ 4.4%
為替レート (1USD/円)	122.39	133.53		
為替レート (1ユーロ/円)	136.70	145.72		

左記為替レートは  
各期3月末TTMレート

\*ROEは、親会社株主に帰属する四半期純利益を年換算し算出しております。

# 連結営業利益の増減要因【実績】

単位：億円



減価償却費増等により約1.8億円利益減があったものの、売上増に伴う利益増・人件費減・経費減・為替影響の合計で約5億円の利益増があり、前年同期比約3.4億円増益

# 2024年3月期 通期予想(連結)

単位：百万円



連結	実績	予想		前年度比		5/11公表値比	
	2023/3期 通期	2024/3期 5/11公表	通期 今回修正	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	<b>115,480</b>	121,000	<b>124,000</b>	8,519	7.4%	3,000	2.5%
営業利益 (営業利益率)	<b>2,824</b> (2.4%)	3,100 (2.6%)	<b>3,700</b> (3.0%)	875	31.0%	600	19.4%
経常利益 (経常利益率)	<b>2,909</b> (2.5%)	2,200 (1.8%)	<b>2,900</b> (2.3%)	△ 9	△ 0.3%	700	31.8%
親会社株主に帰属する 当期純損益 (純損益率)	※△ <b>2,208</b> (△1.9%)	200 (0.2%)	<b>600</b> (0.5%)	2,808	—	400	200.0%
為替レート (1USドル/円)	<b>132.70</b>	130.00	<b>138.00</b>	5.30		8.00	
為替レート (1ユーロ/円)	<b>141.47</b>	142.00	<b>154.00</b>	12.53		12.00	

12月末TTMLレート

※連結子会社であるDMキャストینگテクノロジー(タイ) Co., Ltd.の固定資産減損を2023年3月期 第2四半期で計上した影響

# 2024年3月期 第2四半期予想(連結)

単位：百万円



連結	実績	予想		前年同期比		5/11公表値比	
	2023/3期 第2四半期	2024/3期 5/11公表	第2四半期 今回修正	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	<b>56,944</b>	60,000	<b>62,700</b>	5,755	10.1%	2,700	4.5%
営業利益 (営業利益率)	<b>664</b> (1.2%)	1,200 (2.0%)	<b>1,800</b> (2.9%)	1,135	170.7%	600	50.0%
経常利益 (経常利益率)	<b>941</b> (1.7%)	700 (1.2%)	<b>1,600</b> (2.6%)	658	70.0%	900	128.6%
親会社株主に帰属する 四半期純損益 (純損益率)	※△ <b>2,475</b> (△4.3%)	△ 210 (△0.4%)	<b>300</b> (0.5%)	2,775	—	510	—
為替レート (1USD/円)	<b>136.68</b>	130.00	<b>144.99</b>	8.31		14.99	
為替レート (1ユーロ/円)	<b>142.67</b>	142.00	<b>157.60</b>	14.93		15.60	

6月末TTMLレート

6月末TTMLレート

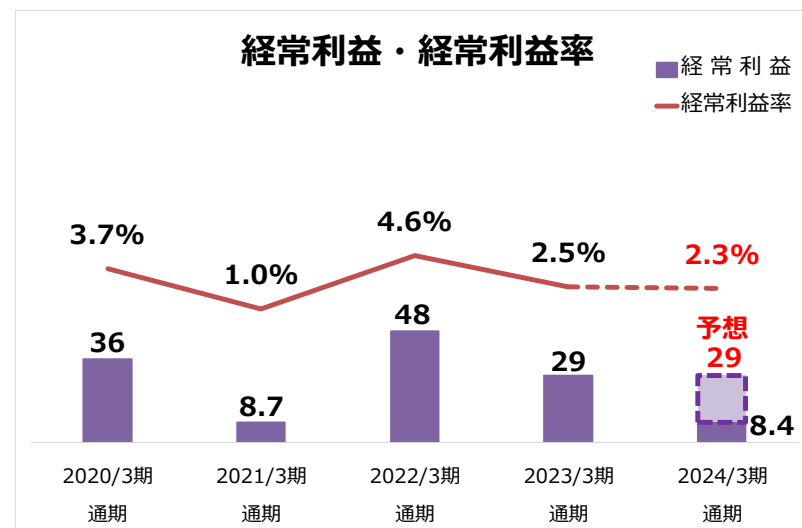
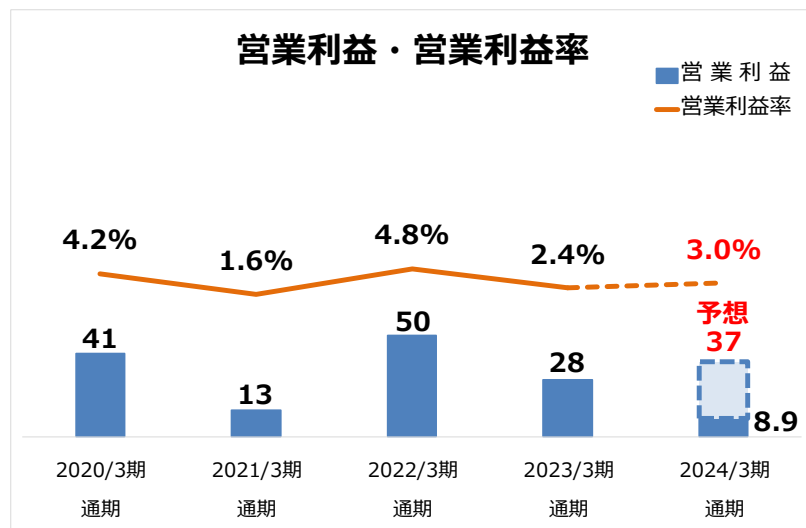
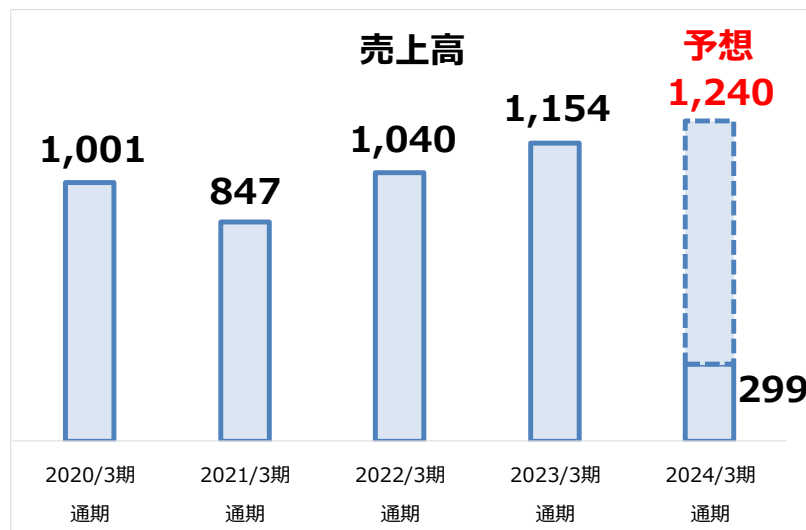
※連結子会社であるDMキャストینگテクノロジー(タイ) Co., Ltd.の固定資産減損を2023年3月期 第2四半期で計上した影響

(予定)

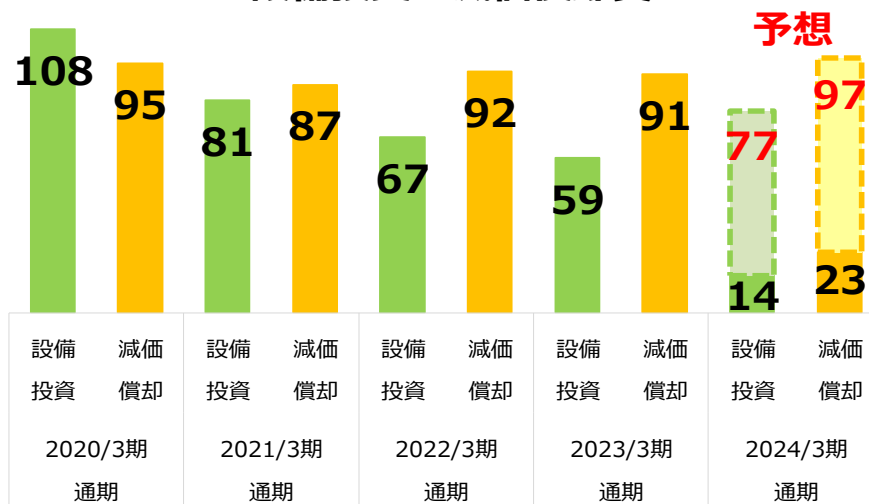
<配当金推移>	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期
中間	20円※	10円	10円	10円	2円
期末	15円	10円	15円	2円	6円
年間	35円	20円	25円	12円	8円

配当性向	60.1%	888.7%	61.4%	—	62.8%
利回り (期末株価ベース)	6.5%	3.4%	4.4%	2.3%	—

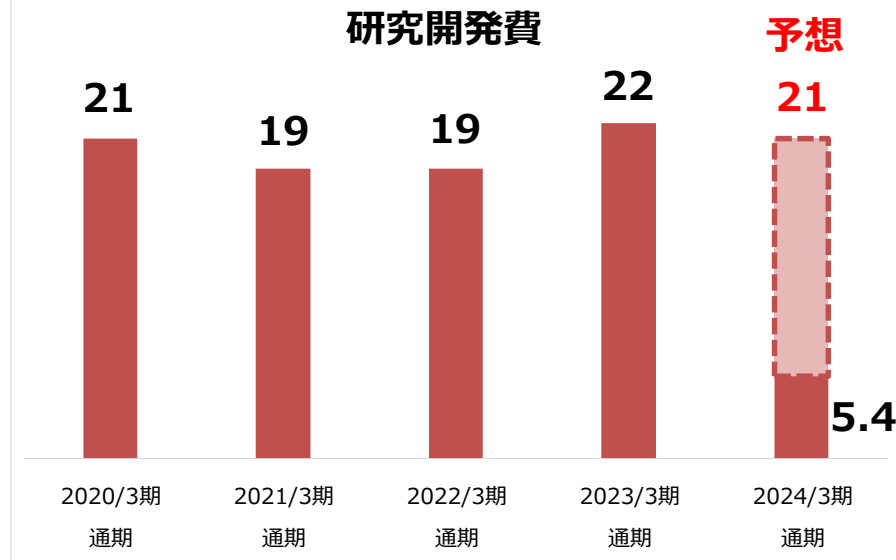
※ 2020年3月期中間配当金の内訳 は普通配当15円、記念配当5円です。(創立80周年記念配当)



## 設備投資・減価償却費



## 研究開発費





## 【売上高】

## 【営業損益】

セグメント	売上高 構成比	前年同期比		前年同期比	
		増減額	増減率	増減額	増減率
自動車用 エンジン軸受	54.4%	1,465	9.7%	416	26.4%
自動車用 エンジン以外軸受	16.2%	△ 40	△ 0.8%	△ 33	△ 4.6%
非自動車用軸受	12.6%	389	11.3%	179	35.1%
自動車用 軸受以外部品	14.6%	419	10.4%	△ 218	—
その他	2.2%	176	36.3%	17	23.6%
セグメント間消去		0		△ 24	
全体合計：		2,410	8.7%	337	60.5%

## 自動車用エンジン軸受

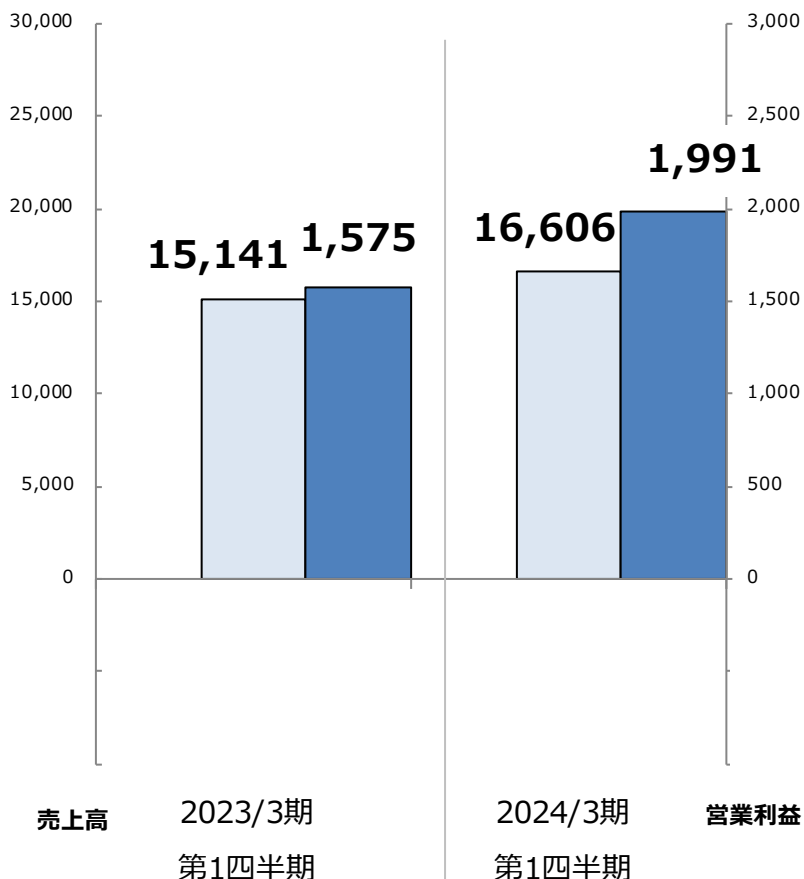
(セグメント間消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高

■ 営業利益



### 【売上】 +1,465 (+9.7%)

- ◎日本：乗用車では半導体供給不足が緩和されたことの影響や新型車の好調による大幅な受注増
- ◎日本：トラックでは底堅い市況に支えられ受注微増
- ◎欧米：半導体供給不足が緩和されたことによる受注増
- ◎韓国：半導体供給不足が緩和されたことによる受注増
- △中国：需要後退に伴う受注減

### 【営業利益】 +416 (+26.4%)

- ◎北米の付加価値製品の増加や韓国の増収による影響

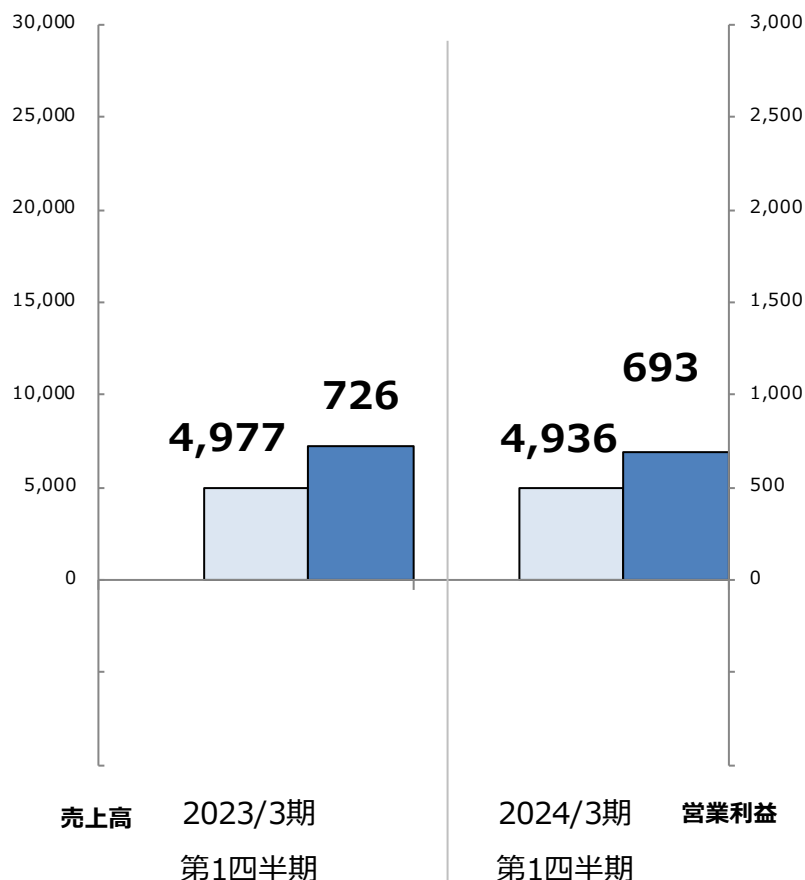
## 自動車用エンジン以外軸受

(セグメント間消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高  
■ 営業利益



**【売上】 △40 (△ 0.8%)**

△日本：乗用車関連では半導体供給不足が緩和されたことによる回復が見え始めているものの、一部で在庫調整などの影響により受注減

**【営業利益】 △33 (△ 4.6%)**

△日本の減収による影響

## 非自動車用軸受

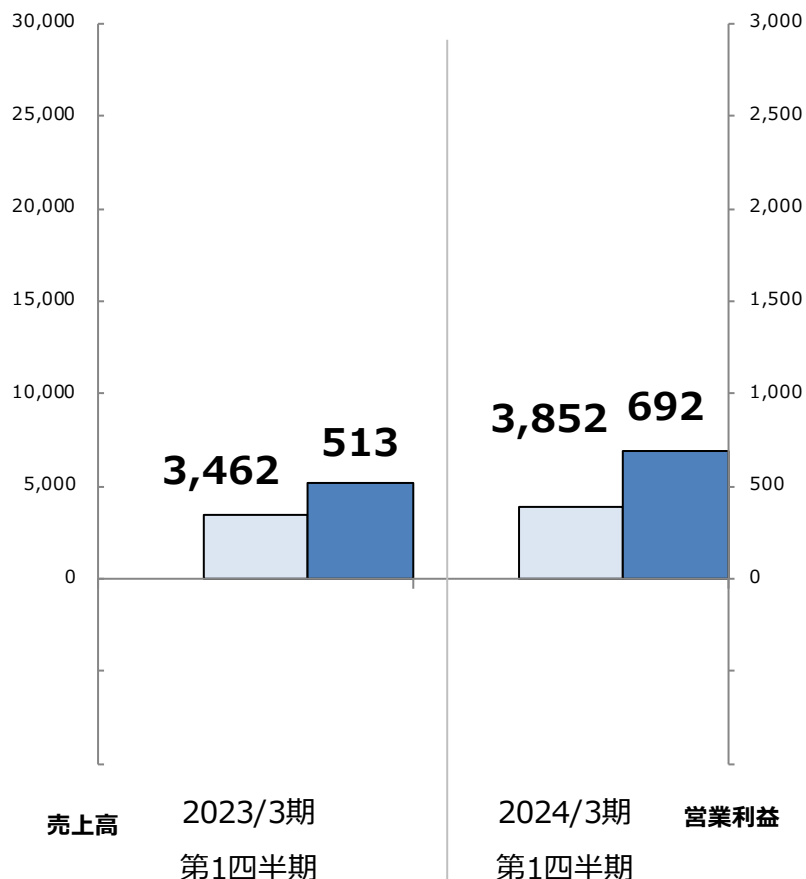
(セグメント間消去前)

前年同期比

□ 売上高

■ 営業利益

◎ 増収/増益要因 △ 減収/減益要因



**【売上】 +389 (+11.3%)**

- ◎ **船舶分野**：  
堅調な需要の推移やコロナ禍からの回復によるサービスパーツの受注増
- ◎ **建設機械分野他**：  
建設機械関連向けの堅調な需要の推移や欧州の中高速エンジン用軸受の受注増
- ◎ **エネルギー分野**：  
発電機タービン用軸受の予備品・サービスパーツの受注増や石油精製プラント向けの圧縮機用軸受の開拓などによる受注増

**【営業利益】 +179 (+35.1%)**

- ◎ 開拓による増収の影響

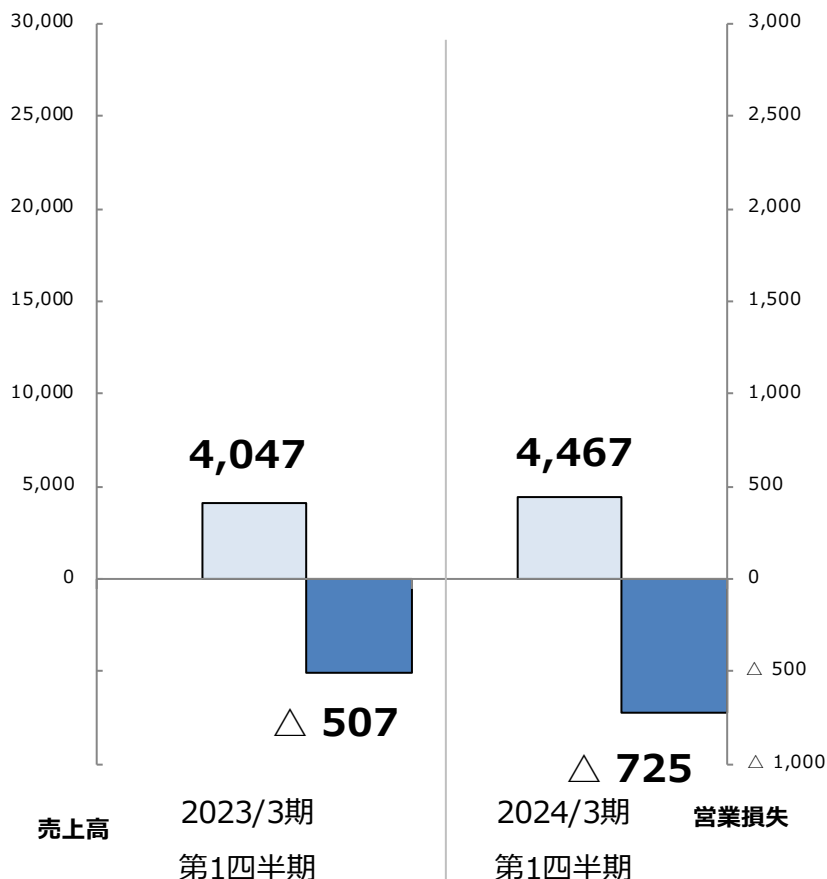
## 自動車用軸受以外部品

(セグメント間消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高  
■ 営業損失



### 【売上】 +419 (+10.4%)

- ◎ **アルミダイカスト製品**：  
新規に納入する電動自動車用部品の需要増による受注増
- ◎ **精密金属加工部品**：  
中国での需要後退はあるものの、日米で半導体供給不足が緩和されたことによる受注増や為替の円安影響により微増

### 【営業損失】 △218 (-)

- △ **精密金属加工部品**：  
北米向け製品での下支えはあるものの中国での需要後退に伴う減収の影響

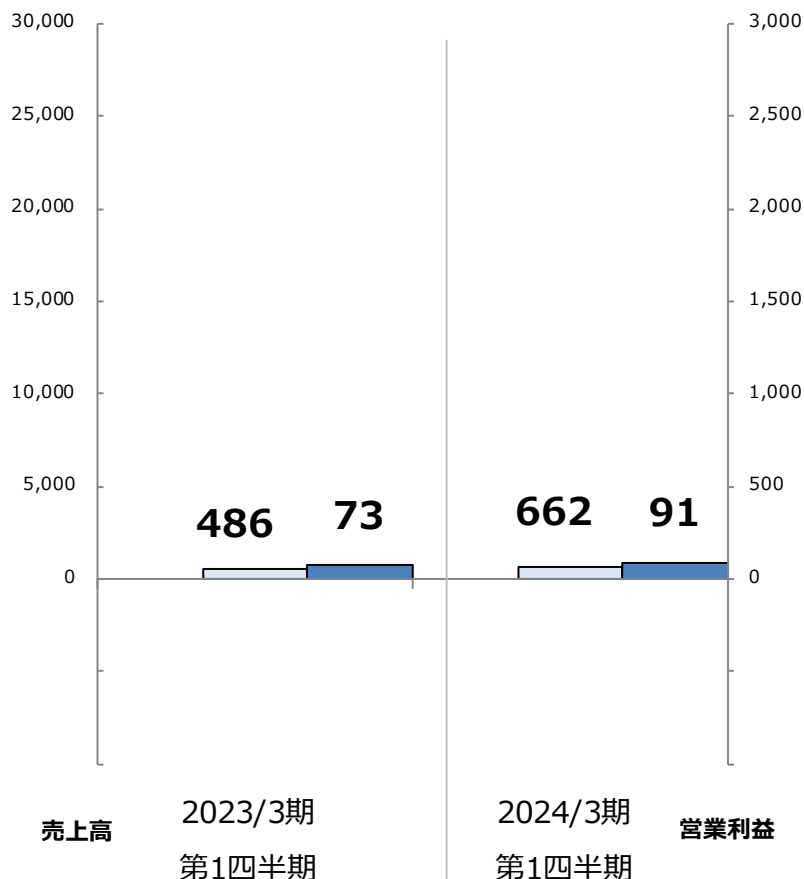
## その他

(セグメント間消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高  
■ 営業利益



**【売上】 +176 (+36.3%)**

◎ポンプ関連製品事業では設備投資の再開による旺盛な需要や金属系無潤滑軸受の市況回復に伴う受注増

**【営業利益】 +17 (+23.6%)**

◎増収による影響

※「その他」の区分は、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、電気二重層キャパシタ用電極シート、不動産賃貸事業等を含んでおります。

## 【売上高】

## 【営業損益】

所在地	売上高 構成比	前年同期比		前年同期比	
		増減額	増減率	増減額	増減率
国内	52.6%	1,357	7.5%	△ 91	△ 24.9%
アジア	24.7%	△ 98	△ 1.1%	△ 119	△ 91.6%
北米	12.3%	715	18.8%	476	786.6%
欧州	10.3%	578	18.0%	82	—
内部取引消去		△ 143		△ 10	
全体合計：		2,410	8.7%	337	60.5%

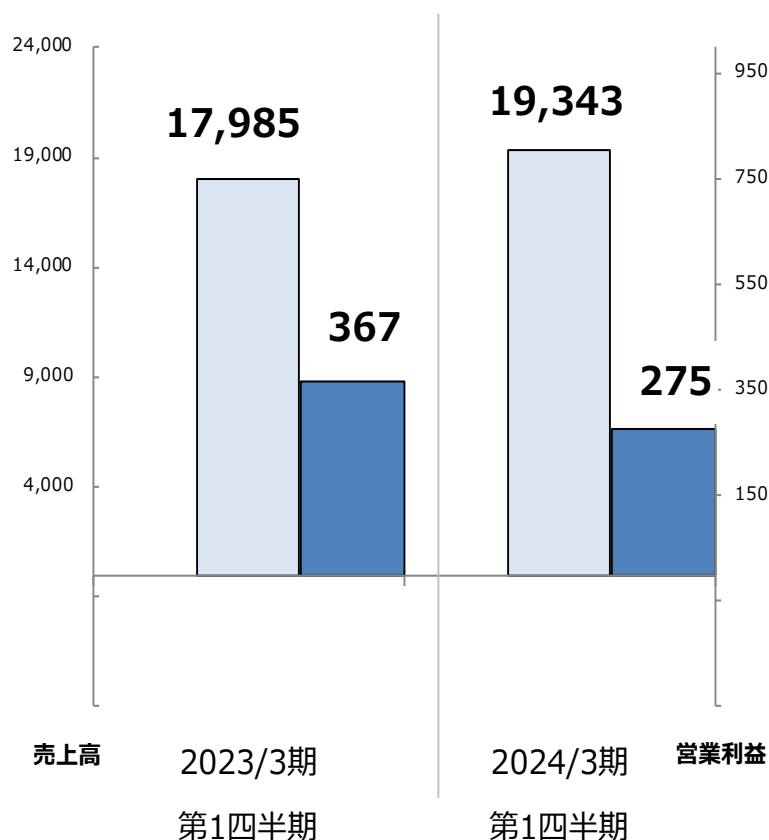
国内

(内部取引消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高  
■ 営業利益



**【売上】 +1,357 (+7.5%)**

- ◎自動車関連の半導体供給不足が緩和されたことによる受注増
- ◎非自動車用軸受（主にエネルギー分野）の需要増や開拓などに伴う受注増

**【営業利益】 △91 (△ 24.9%)**

△資材費・エネルギーコスト増に伴う影響



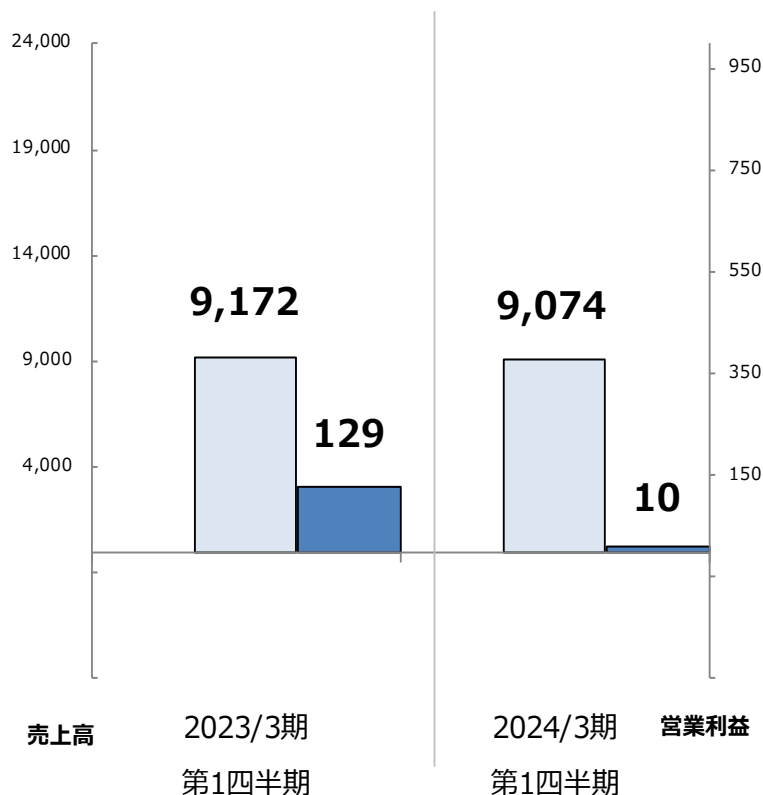
## アジア

(内部取引消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高  
■ 営業利益



**【売上】 △98 (△ 1.1%)**

- ◎韓国：半導体供給不足が緩和されたことによる受注増
- ◎タイ：新規に納入する電動自動車用部品の需要増による受注増（アルミダイカスト製品）
- △中国：需要後退に伴う受注減

**【営業利益】 △119 (△ 91.6%)**

- ◎韓国：増収による影響
- △中国：需要後退に伴う減収の影響

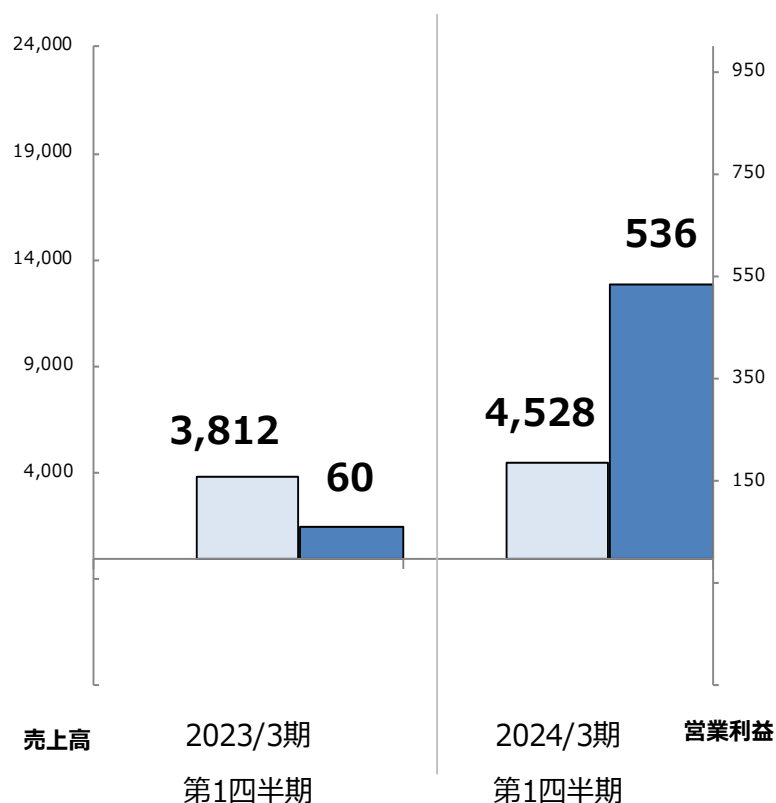
## 北米

(内部取引消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高  
■ 営業利益



**【売上】 +715 (+18.8%)**

- ◎乗用車関連やトラックの底堅い需要に伴う受注微増
- ◎建設機械分野：底堅い市況に支えられ受注微増
- ◎精密金属加工部品：半導体供給不足が緩和されたことによる受注増

**【営業利益】 +476 (+786.6%)**

- ◎付加価値製品の増加による影響

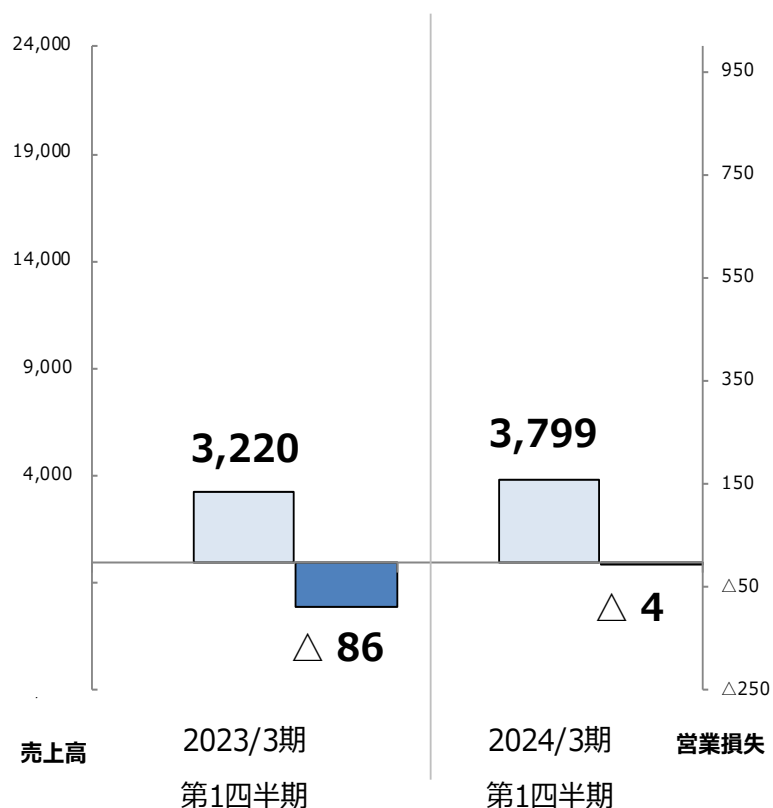
## 欧州

(内部取引消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□売上高  
■営業損失



### 【売上】 +578 (+18.0%)

- ◎非自動車用軸受（中・高速エンジン用等）の需要増や開拓による受注増
- ◎自動車関連の半導体供給不足が緩和されたことによる受注増

### 【営業損失】 +82 (-)

- ◎増収による影響



### 【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその現実を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、大同グループは今回の発表内容に対しまして、法令、規則の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表、発表する義務を負うものではありません。従いまして、これまで発表しました「業績見通し概要」などの将来の記述に全面的に依拠しての投資判断などは差し控えるようお願い致します。

### 【本資料における表示方法】

数値：表示単位未満を切り捨て

比率：表示単位未満を四捨五入